

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 7日 更新

事務事業名	湯ったり乗ったり弁天カード入浴料補助事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 内田 秀一郎
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 坂田 寛之
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線) 1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11519	法令根拠	合志市総合健康センターユーパレス弁天入浴事業補助金交付要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	65歳以上または障害者手帳をお持ちの市民を対象に、市が運行しているコミュニティバスが有効期間中乗り放題となる定期券(通称:弁天カード)を販売している。 定期券の特典として、ユーパレス弁天の大浴場の入浴料が400円から100円となり、その減額分300円を補てん(助成)する事業である。 当該事業は市長マニフェスト事業として、公共交通の利便性向上を目的に、高齢者の交通事故防止、温泉活用による心身の健康、医療費削減などを見据えた事業として、平成22年度から実施している。 ※定期券は1ヵ月券(1,600円)と3ヵ月券(4,800円)の2種類がある。 《経緯》 平成22年10月1日:事業開始。補助額:1人200円/回 平成23年7月1日:市議会の指示により平成23年4月から老人憩の家やみどり館の施設使用料が100円に統一されたため、整合性を図るため定期券提示者の入浴料も100円とし、補助金額を300円とした。
【業務の流れ】	①ユーパレス弁天と辻久保営業所での受付と販売 ②制度周知(市広報、市ホームページ、各種団体向け公共交通事業説明会) ③ユーパレス弁天からの実績報告による補助金支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・ユーパレス弁天の取締役会において、弁天カードの更なる利用促進の啓発実施について意見があった。 ・特別支援学校通学者(保護者)より、障害者手帳所持者でない特別支援学校通学者を弁天カードの対象者として認めてほしいとの意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・制度周知(市広報、市ホームページ、ガイドマップ)、熊本電鉄・ユーパレス弁天によるカード発行業務、ユーパレスからの実績報告による補助金支払事務	・制度周知(市広報、市ホームページ、ガイドマップ)、熊本電鉄・ユーパレス弁天によるカード発行業務、ユーパレスからの実績報告による補助金支払事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア ユーパレス弁天営業日数	日 ユーパレス弁天改修工事(入浴不可)に伴う減
イ コミュニティバス運行日数	日 ※改修工事予定期間: H25.9.2~H25.12.19
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・65歳以上及び障害者手帳をお持ちの市民	(単位)
	→ ア 65歳以上の市民数
	イ 各種障害者手帳所持者数(65歳未満)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・バスの利用が増える。	(単位)
	→ ア 弁天カード販売枚数
	イ 弁天カード提示による入浴者数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
・各交通機関で円滑に移動できることと、新規事業であるため制度周知のバロメーターとしてカード販売枚数を設定した。	
・「温泉活用による心身の健康」の指標として、弁天カード提示による入浴者数を設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	予定	見込	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)			
① 活動指標	ア 日	171	342	341	341	239			
	イ 日	182	365	365	365	365			
② 対象指標	ア 人	10,903	11,224	11,000	11,746	12,200			
	イ 人	1,277	1,363	1,402	1,374	1,420			
③ 成果指標	ア 枚	20	84	130	131	150			
	イ 人	112	1,899	3,000	3,069	2,700			
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	22	564	900	921	810		
	(A) 事業費計	千円	22	564	900	921	810		
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0			
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0			
正規職員従事人数	人	3	2	2	2	2			
延べ業務時間	時間	63	50	50	50	50			
(B) 人件費計	千円	259	201	201	203	201			
トータルコスト(A)+(B)	千円	281	765	1,101	1,124	1,011			

事務事業名	湯ったり乗ったり弁天カード入浴料補助事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 当該カードの販売枚数及び入浴者数は目標値を達成したものの、カード購入者(実数)は微増である。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 当該カードの啓発及びコミュニティバスの利用促進の取り組みを実施し、利用者の利便性を向上させることにより、目標達成に繋げたい。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 効果的な周知啓発活動を実施することにより、成果は向上する。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 公共交通とユープレス弁天の利用促進を図る事業は本事業以外にはない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 弁天カード提示による大浴場利用者の負担額を上げれば事業費は削減できるが、老人憩の家及びみどり館との入浴料金の整合性を図るため(平成23年7月)負担額を100円としたことから、負担額増の実施は困難であり、事業費の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の職員数、業務時間数で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 本事業の趣旨(市長マニフェスト)により対象者は限定されるが、事業の目的や受益者負担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 コミュニティバス運行の実施主体は合志市であり、それを住民や地域・団体に移行することはできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>事業開始から約3年が経過し周知啓発の効果によりカード販売枚数は微増傾向にある。コミュニティバスの利用者は高齢者が多いことから、交通弱者(高齢者、障がい者等)に対する地域公共交通の利便性を向上させるため、当該カードの対象者の見直しを検討するとともに、啓発活動を関係団体と連携し実施し販売枚数の増加を図る。また、当該カード提示による入浴者も増加しており、当該カードの事業目的である温泉活用による心身の健康増進等に繋がっている。</p>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>弁天カードの販売枚数の増加を図る</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>当該カード提示による入浴者が増加すれば健康増進には繋がるものの、入浴料補助金のコストが増加する。</p>																						